

Ⅳ クロス集計結果

(市民向け調査)

【調査結果の見方】

- 図表中の「N」、「サンプル数」は、設問への回答者数を表す。
- 図表中の数値は、特に断りのある場合を除き、いずれも回答率(%)を表示している。
- 回答率(%)は、すべて小数点以下第二位を四捨五入し、小数第一位までを表示している。したがって、その合計値が100.0%にならない場合がある。
- 回答には、単数回答「(○はひとつ)」と複数回答「(○は2つまで(あてはまるものすべてに○)等)」の2種類がある。複数回答の場合、その回答率(%)の合計が100.0%を超える場合がある。
- クロス集計では、内容により適宜、分析軸の「その他」や「無回答」等を省略している場合があり、分析軸のNの合計値と「TOTAL」が一致しない場合がある。
- 図表の問のタイトル及び回答の選択肢は、簡略化して表現している場合がある。
- このⅣ章では、以下の調査結果(図表、文章)において略称を用いている。

〔 調査の表題 〕

【 表記(略称) 】

「健康や介護についてのアンケート(介護一般調査)」	⇒	高齢者一般
「健康や介護についてのアンケート(一般調査)」	⇒	一般55～64歳
「介護予防についてのアンケート」	⇒	介護予防
「介護保険在宅サービス利用者調査(要支援)」	⇒	要支援
「介護保険在宅サービス利用者調査(要介護)」	⇒	要介護
「介護保険サービス未利用者調査」	⇒	未利用
「特別養護老人ホーム入所申込者調査」	⇒	特養申込者

- 本調査分析では、回答者のプロフィールを明らかにするため、いくつかのクロス集計軸を用いている。
 - ・性別(「男性」「女性」)
 - ・「前期高齢者(65歳～74歳)」「後期高齢者(75歳以上)」別、「55～59歳」「60～64歳」別などの年代別区分
 - ・要支援、要介護度別(要支援1、2、要介護1～5)
 - ・「介護予防必要者」「介護予防必要者以外」(設問中の回答を点数化し区分)

— 目 次 —

1. 回答者の属性について	1
(1) 年齢構成	1
(2) 世帯構成	3
(3) 対象者の所在	5
(4) 健康状態、要介護度	6
2. 地域生活と住まい	8
(1) 区内居住年数	8
(2) 住居形態	10
(3) 住居の不満点	14
(4) ふだんの過ごし方	16
(5) 地域活動への参加状況	19
(6) 「ヨコハマいきいきポイント」事業への参加意向	21
3. 健康・予防	22
(1) 介護予防事業利用終了後の状況	22
(2) 介護が必要とならないためのサービス利用	23
(3) 認知症予防について	25
(4) 外出についての意識	27
(5) 介護予防に対する意識・認識	29

4. 生活支援	31
(1) 介護保険サービス以外で今後利用したいサービス	31
(2) 今後利用したい給付外サービス	34
(3) 地震・災害時に頼れる人の有無	37
(4) 災害時の自治会町内会への個人情報提出	41
5. 介護（医療）	43
(1) サービス利用状況	43
(2) 限度額に対する利用状況	46
(3) 上限まで利用していない理由	47
(4) ケアプランの満足度	49
(5) 特養に代わるサービスの利用意向	50
(6) 特養に代わるものとならない理由	51
(7) 主たる介護者の年齢と健康状況	52
(8) 介護負担・困りごと	55
6. 小規模多機能利用者調査	59
(1) 利用状況（通い、訪問、宿泊）	59
(2) 利用し始めた理由	60
(3) 今後の利用ニーズ（今後利用したい小規模多機能のサービス）	61
(4) 良いと感じる点	62